

何も無駄にしないものづくり！

『和ろうそくは、つなぐ』

大西 暢夫・著 出版社：アリス館 978-4-7520-1004-3

ローソクの原料は海外では古くはミツバチが巣をつくる
ときに出すロウでした(その後石油からつくられるようになりました。
これがもっとも一般的ですね)。それに対し和ろうそくは、ハゼの
木の実からつくられているのだそうです。この本では、そ
んな和ろうそくがつくられる工程を追い、職人どうしの知
恵がつながって、関わるものすべてがまったく無駄なく再利
用されていることを紹介しています。昔から続くものづくりでは自然にやさしい
暮らしが実践されているんですね。すごい！

【小学校5・6年生向け】
ちゅうおうとしょかん さかた としよかん そうしょ
・中央図書館、坂田図書館に蔵書があります

中央図書館スタッフが選んだオススメ本 特集テーマ「埼玉県推奨図書」

ひと たいせつ き す こころ はなし
人として大切なものに気づけ、澄んだ心になるお話です。
『ねえさんの青いヒジャブ』 イブティハージ・ムハンマド、
S.K.アリ・文
出版社：BL出版 ISBN：978-4-7764-0963-2 ハテム・アリ・絵 野坂 悦子・訳

くともだち>だから、助け合う。ウマのチャーリーとヤギのジャック、
ふたりの友情物語。
『チャーリー、こっちだよ』 キャレン・レヴィス・作
チャーلز・サントソ・絵
出版社：BL出版 ISBN：978-4-7764-0971-7 いわじょう よしひと・訳

エリカのひろったえんぴつから、つくも神が現れた！？
『えんぴつはだまって』 あんず ゆき・作
たごもりのりこ・絵
出版社：文楽堂 ISBN：978-4-7999-0478-7

ウミガメの一生。いきるちからを感じます。
『ウミガメものがたり』 鈴木 まもる・作 / 絵
出版社：童心社 ISBN：978-4-494-00520-8

「クリスマスなんて大きい！」そんなジェイクがある日1匹の犬と出会う・・・。
『ぼくの犬ササン』 ニコラ・デビス・文
垂石 眞子・絵
出版社：あすなろ書房 ISBN：978-4-7515-3031-3 千葉 茂樹・訳

ずっとしまっておいたら
りんごだんだん どうなるの？？

『りんごだんだん』
小川 忠博・写真と文
出版社：あすなろ書房
ISBN：978-4-7515-2961-4

まだ女性の学者が認められていなかった時代、
それでも彼女は化石の研究に人生を捧げました。
『きょうりゅうレディ』
リンダ・スキアース・作
マルタ・アルバレス・ミゲンス・絵
まえざわ あきえ・訳
出版社：出版ワークス
ISBN：978-4-907108-76-2



OKEGAWA hon プラス+ は 図書館、本屋さん、イベントスペース、カフェなどがいっしょ
になった、みんなが楽しく学べるしせつです。イベントスペースでは、いろんな先生が来て、宇宙、南極、動植物、
科学実験などを教えてくれるイベントをやっています。図書館や本屋さんですぐとにるのでイベントで学んだ
ことを本ですぐ調べることができるよ。OKEGAWA hon プラス+でのイベントの予定についてはこちらをご覧ください▶



おけがわマイン 3F
〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-2
OKEGAWA hon プラス+
☎048-786-6353 桶川市立中央図書館
発行者：OKEGAWA hon プラス+運営協議会(桶川市・株式会社新都市ライフホールディングス・丸善雄松堂株式会社)
「202404」



OKEGAWA hon プラス+ 子どもつうしん



No.26
不定期発行

子どもつうしん



令和5年度 埼玉県推奨図書 特集



埼玉県推奨図書サイト

今回の「子どもつうしん」では推奨図書のなかからご紹介しします。どの本
も桶川市内図書館に蔵書がある本です。ぜひ手に取って読んでみてください。

埼玉県県民生活部青少年課では青少年の健全な
育成を図るため、特に優
良と認められる図書を選
んで「埼玉県推奨図書」
として毎年10月に発表し
ています。

おなじ一日でも、ひとそれぞれ

『いい一日ってなあに？』

ミーシャ・アーチャー・作
石津 ちひろ・訳

出版社：BL出版 ISBN：978-4-7764-1054-6



英語を母国語にするひとたちのあいだには「Have a
good day!(いい一日を!)」というあいさつがあります。
主人公のダニエルはある日、近所のひとたちにかけられ
たことばに、「いい一日っていったいどんな日だろう？」
とふしぎに思います。そこで彼は、近所の仲良したちに

そのひとにとっていい一日とはどんな日なのかをきいてまわります。

カラフルな絵本なので見過ごしがちですが、実はとてもこまかな切り絵を効果
的につかって描かれているところも見どころの一冊です。

ちゅうおうとしょかん おけがわとしょかん そうしょ
・中央図書館、桶川図書館に蔵書があります



かみなりって、どうしておきるのかな？



『かみなり』

妹尾 堅一郎・監修 出版社：ポプラ社
ISBN：978-4-591-17420-3

ピカッ、ゴロゴロゴロ——かみなりです。みなさんは、その正体がいったいなんなのか知っていますか？ かみなりの元は電気です。空で雲と雲がこすれて電気が起き、それがあふれて落ちてくるのです。この本では、そんなかみなりの様子を「雷写真コンテスト」の入賞作品の写真をつかって紹介してくれています。かみなりはいつどこで発生するかわからないのに、よくこれだけきれいに撮れたものです！自然の力ってすごい！——そう思わせてくれるパワフルな写真絵本です。

ちゅうおうとしょかん さかた としょかん ぞうしよ
・中央図書館、坂田図書館に蔵書があります

本をさわらないとわからない仕掛けがあるぞ！

『寓話に生きた人イソップ—その人生と13の物語—』

イアン・レンドラー・文 パメラ・ザガレンスキー・絵 山下 愛純・訳
出版社：化学同人 ISBN：978-4-7598-2276-2



寓話とは動物などを主人公にして、ひとに教訓をあたえるような内容の物語のことです。イソップが書いたとされる「アリとキリギリス」や「北風と太陽」などはみなさんも良くご存知ですね。

イソップは奴隷として主人につかえることになりますが、その才覚が認められ、主人の相談役として活躍することになります。そして最後は……。これは読んでのお楽しみにしておきましょう。

絵本のかたちをとっていますが、人生について教わることの多い一冊です。

ちゅうおうとしょかん さかた としょかん ぞうしよ
・中央図書館、坂田図書館に蔵書があります

ダンネバードはネパール語で「ありがとう」の意味

『はじめましてのダンネバード』

工藤 純子・作 マコ カワイ・絵 出版社：くもん出版 ISBN：978-4-7743-3320-5



四年生の蒼太の組にネパールから転校生がきました。みんなはほとんど日本語が話せない彼女にどう接すれば良いのかわかりません。しかも彼女は、そのうち「また学校に来る」と言って休むようになってしまいます——が、たまたま蒼太は彼女に校外で会う機会ができ、おたがいにコミュニケーションがとれるまで仲良くなります。

これからは身近に外国人の子どもが増えていくことでしょう。そうしたとき、共通点を見つけて認め合い、たがいの良いところを活かしあえる社会が実現できると良いですね。

しょうがっこう ねんせいむ
【小学校3・4年生向け】

ちゅうおうとしょかん おけがわとしょかん ぞうしよ
・中央図書館、橘川図書館に蔵書があります

みんなとちがってもいいんだ！と気づかせてくれる本

『わたしはスペクトラム』

リビー・スコット、レベッカ・ウエストコット・著 梅津 かおり・訳
出版社：小学館 ISBN：978-4-09-290663-1



自閉スペクトラム症は対人関係が苦手のひとつのことにこだわりの強い傾向にある障害で、病気ではありません(最新の調査では子どものおよそ20～50人にひとりが発症するのだそうです)。この物語は周囲に合わせようとしてそのストレスに悩み続けてきた主人公が、自身が自閉スペクトラム症であることを知り、あ

りのままの自分を認めることができるようになっていく過程を描いた作品です。

本書の著者、リビー・スコットは自閉スペクトラム症の女の子であり、主人公の思いがとてもリアルに描かれていて、この障害をもったひとへの理解がとても深まります。

しょうがっこう ねんせいむ
【小学校5・6年生向け】

ちゅうおうとしょかん さかた としょかん ぞうしよ
・中央図書館、坂田図書館に蔵書があります